

6月

定例会



平成21年第4回定例会は、6月16日に招集され、29日までの14日間の日程で開催されました。市長から提出された案件は、条例の一部を改正する条例3件、平成21年度一般会計及び特別会計補正予算6件、人事案件2件、その他4件の計15件でした。これらの案件は、概ね所管の常任委員会に付託して審査を行いました。

最終日に、議員発議で一般会計補正予算に対する修正動議の提出がありました。が否決となり、採決の結果、全ての議案は、原案のとおり可決しました。

ほかに議員発議として議員定数条例の一部を改正し、現行定数30名を次の改選期から4名減の26名としました。さらに意見書1件を提出しました。

また、学識経験者として議会推薦の農業委員会委員4名を推薦しました。一般質問では11名の議員が質問に立ち、市当局の考えを質しました。

条例

税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い改正しました。

国民健康保険税条例の一部改正

平成21年度国民健康保険税の税率を定めるため改正しました。

小学生入院医療費の助成に関する条例の一部改正

平成21年10月診療分から小学生の入院以外の医療費の助成を拡充するため改正しました。

補正予算

一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ2億7018万8千円を追加し、予算総額を243億2005万4千円としました。

歳入の主なものは、認定こ

ども園建設補助金等2億2657万5千円、小学生医療費助成事業1008万1千円、雇用対策事業1564万3千円、消費者行政推進支援事業421万4千円などで、歳入の主なものは、安心こども基金事業補助金、雇用対策費補助金、消費者行政活性化交付金等の県支出金1億5442万9千円、地域活性化対策策

金繰入金、地域雇用創出・産業活性化基金繰入金等の繰入金9422万6千円であり、不足する財源を財政調整基金繰入1713万3千円で調整しました。

一般会計補正予算（第3号）

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業、女性特有のがん検診推進事業及び理科教育設備整備事業について、歳入歳出それぞれ5億190万7千円を追加し、予算総額を248億2196万1千円としました。その財源には、地域活性化・経済危機対策臨時交付金等の国庫補助金4億7357万4千円を充て、不足

する財源を財政調整基金繰入金2833万3千円で調整しました。

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

国民健康保険税の税率改定及び医療給付費の増により歳入歳出それぞれ3279万7千円を追加し、予算総額を72億8863万9千円としました。

老人保健特別会計補正予算（第1号）

平成20年度分医療費の確定による償還金及び一般会計繰出金の増により歳入歳出それぞれ568万円を追加し、予算総額を2375万2千円としました。

介護保険特別会計補正予算（第1号）

介護報酬改定に伴うシステム改修及び介護保険料改定周知費用等の補正で、歳入歳出それぞれ183万8千円を追加し、予算総額を46億7937万1千円としました。

つぎだて花工房特別会計補正予算（第1号）

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業として実施す

る、つぎだて花工房客室洗面所の改修に要する経費として、歳入歳出それぞれ660万円を追加し、予算総額を1億2217万3千円としました。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

大竹芙美子さん（梁川町）、佐藤 勉さん（伊達町）を適任であるとして推薦しました。

その他

字の区域の変更

地籍調査事業に伴い、梁川町字小梁川の一部を北本町に変更しました。

市道路線の廃止・認定

砂防工事及び水防事業に伴い、2路線を廃止し、新たに4路線を認定しました。

土地の取得

保原小学校改築事業に係る用地を取得することについて、可決しました。

推薦

農業委員会委員の推薦

吉田浩重さん（伊達町）、酒井良子さん（梁川町）、狗

議会及び行財政改革 特別委員会中間報告

議員定数を30名から26名に

議員定数については、伊達5町合併協議会（議員の定数・任期等検討小委員会）の報告の中で、新市議会の次回改選期には、定数削減を望む小委員会での意見に十分配慮するよう報告がありました。選挙区については、合併後「最初の選挙のみ」旧町単位の選挙区で行うということに配慮するとともに、本年9月定例会での改正では新人等立候補予定者の判断を遅らせ、民主的配慮に欠けると思われることなどから6月定例会での上程に向け、審議することとしました。

2月18日、20日開催の全員協議会において、全議員から意見を聴取した結果、現状維持との意見もありましたが、削減の方向が大勢を占め、本委員会としては平成21年第2回定例会での中間報告のとおり、削減することを決定し、削減数については2名、3名、4名、6名を審査の対象として審議を進めることとしました。

その後、市民と議会との意見交換会を旧町ごとに5箇所で開催、議員定数も議題に含め市民からの意見聴取を行いました。意見としては「人口を考慮した定数削減が必要」、「定数削減は必要なし」、「定数を現状維持し報酬の削減」、「日額報酬の採用」などが出されました。

これらの意見を参考としながら5月29日の本委員会の方針を固めるべく審議を行いました。財政的観点から、地方交付税の合併後15年以降の交付金本算定に向けた対応、併せて職員定数も削減されていることから、議会費も削減が必要という議論がありました。「定数を現状維持し議員報酬の削減」という意見交換会での意見もありましたが、議員の専門性の向上、議員活動に対する保障などの観点から、定数削減による財政負担軽減が有効であることを再確認しました。

また、議員の質を高めるという観点からも無競争はさなければならないという意見もあり、削減数を何人とするかという具体的な議論が開始されました。

まず、6名削減、定数24名とする議論を行いました。合併後間もない中、中山間地が多い事情を踏まえ、今回は見送りとし今後の検討事項とすることとなりました。

定数論議の基本として、類似団体との比較という観点から、東北の類似団体22市の平均は27.77人という参考意見が出され、また人口比較による北海道、関東、北信越以北の市60,000人以上90,000人未満の66市の平均では26名、この中でも面積での比較として230km²以上300km²未満の10市の平均では27名という具体的な数値を参考として論議されました。

最終的には、26名、27名に絞った議論となり、全員協議会における26名が一番多い意見であったこと、また議会運営上の観点から定数は偶数が適当であるという意見が出され、これらの意見を踏まえた結果、本委員会としては、次回改選期の議員定数については、26名とすべきという結論に達しました。

以上、議員定数について議会及び行財政改革特別委員会の報告と致します。

平成21年6月12日

政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める意見書

意見書

飼みよ子さん（霊山町）、渡邊利彦さん（月舘町）を適任であるとして推薦しました。

議員発議

議会議員の定数を定める条例の一部改正

議会議員の定数を26名に改めました。

5月臨時会

平成21年第3回臨時会は、5月29日に招集され、市長から提出された専決処分承認2件、条例改正3件、補正予算1件、ほかに議員発議として条例改正1件の議案を原案どおり可決しました。

専決処分

税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税の土地の負担調整措置及び特別土地保有税

条例

市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正

の特例措置を延長するため改正しました。

税特別措置条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、過疎地域、集積区域における固定資産税の課税免除の適用期限を延長するため改正しました。

補正予算

一般会計補正予算（第1号）

新型インフルエンザの国内

6月に支給する期末手当の支給額について0・15月分減額するため改正しました。

職員の給与に関する条例の一部改正

6月に支給する期末勤勉手当の支給額について期末手当0・15月分、勤勉手当0・05月分、合わせて0・2月分を減額するため改正しました。

議員発議

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

6月に支給する期末手当の支給額について0・15月分減額するため改正しました。

感染者が急速な広がりを見せる中、緊急に感染拡大防止対策を講じるための経費として、歳入歳出それぞれ2355万3千円を追加し、予算総額を240億4986万6千円としました。